

令和8年度 第1回学校運営協議会 会議録要旨 議題「学校再編に向けて」

日時：令和8年5月21日（木）16:20～17:15

場所：鮎原小学校1階会議室

参集範囲：鮎原小学校学校運営協議会委員、学校関係者、教育委員会

【委員からの主な意見】

● 地域とのつながりの希薄化への不安

- ・小学校は地域の求心力。統廃合で地域とのつながりが薄れる。
- ・歩いて通学できることが大切。スクールバス利用により地域の大人との関わりが減る。
- ・地域の行事や農作業体験など、鮎原ならではの学びが失われる。

● 子どもの声が消えることへの寂しさ

- ・子どもの声が聞こえなくなると地域が寂しくなる。
- ・保育所が1つになった時も、近所から“静かになって寂しい”という声があった。

● 小規模校の良さ

- ・少人数でも弊害は感じなかった。むしろ寄り添い合える良さがある。
- ・多様な人間関係は大規模校のメリットだが、小規模校にも価値がある。

● スクールバス・放課後の居場所の課題

- ・バスは下校時には2便しか運行しないと聞く。指導時間が圧迫される可能性がある。
- ・放課後の居場所はどうか。整理の必要があるが、学童保育と子ども教室の定員や料金の違いが課題。

● 校区外申請の扱い

- ・統合を見越して先に統合先へ通う家庭が増えると、地元校の人数が急減する恐れがある。

● 再編の方向性

- ・保育所が1園に統合されているので、小学校も1校に統合してもよいのではないかと。

● 統合時の環境整備への要望

- ・統合後に整備するのではなく、統合時点で安全で完成した環境を整えてほしい。

・通勤車両や中学生の自転車など交通量が多く危険だとの声があった。通学路の安全対策が必須。

● 統合までの学校施設の維持

・統合前でも校舎の修繕はきちんと行ってほしい。

⇒事務局：放置はしないが、大規模修繕は国補助の関係で制約がある。

● 跡地の活用

・空き校舎となっても立派な施設のため、活用していくべき。

・廃校時点で、今後の活用方法が決定していることが望ましい。

● 保護者・地域の意見反映の仕組み

・大きな場では意見が言いにくい。意見を吸い上げる仕組み・方法がほしい。

⇒事務局：QRコードで意見フォームを設置。町内会やPTAからの依頼があれば説明にも伺う。

・子どもたちと保護者の意見が最優先。何を大事にしていくのか、地域とのつながりを大切にしたい。子どもにとっての良い環境を一番に。